

施策に対する市民満足度の推移

各施策に対する回答を、満足度(満足100、やや満足75、やや不満25、不満0)として点数化し、全回答者の平均値を算出しています。満足度は100に近いほど高く、0に近いほど低くなります。

その結果、最も満足度が高い分野は「各種検診や健康相談など健康づくりの推進」の66.03でした。続いて、「消防・救急体制の充実」が60.99となりました。

また、満足度が低かったものは、「新しい産業の創出への支援・起業の支援」が28.96、「雇用の拡大と職

業能力開発など、就業支援」が27.80となりました。

全体として、前回平成27年度の市民意識調査の結果と比較すると、市民の満足度が低下しています。

そのような中で、特に満足度が高くなった項目は「農業の振興や農村地域の基盤整備」で7.58増加、「森林整備と林業の活性化」で3.54増加、「新しい産業の創出への支援・起業の支援」で3.11増加となりました。

全項目の満足度の結果と、前回の意識調査の比較は以下のとおりです。



施策に対する市民満足度(平成27年度・平成30年度市民意識調査比較)

大崎市のまちづくり、あなたはごどう思いますか。

大崎市総合計画 市民意識調査の結果報告

平成30年7月、住民基本台帳から無作為抽出された市民5,000人を対象に、市民意識調査を行いました。主な調査結果を紹介します。

政策課政策企画担当 ☎ 23-2129

■調査の概要

対象 満15歳以上の市民5,000人
調査期間 平成30年7月1日から平成30年7月27日まで
抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出
調査方法 郵送による調査表の配布・回収
回収結果 調査票配布数5,000件のうち有効回収数1,805件(有効回収率36.1%)

■回答者の性別

性別	人数	構成比
男性	784人	43.4%
女性	1,009人	55.9%
無回答	12人	0.7%
合計	1,805人	100.0%

■回答者の年齢

年齢別	人数	構成比
10歳代	71人	3.9%
20歳代	102人	5.7%
30歳代	229人	12.7%
40歳代	258人	14.3%
50歳代	299人	16.6%
60歳代	491人	27.2%
70歳代以上	330人	18.3%
無回答	25人	1.4%
合計	1,805人	100.0%

※構成比は四捨五入のため合計があわないことがあります。

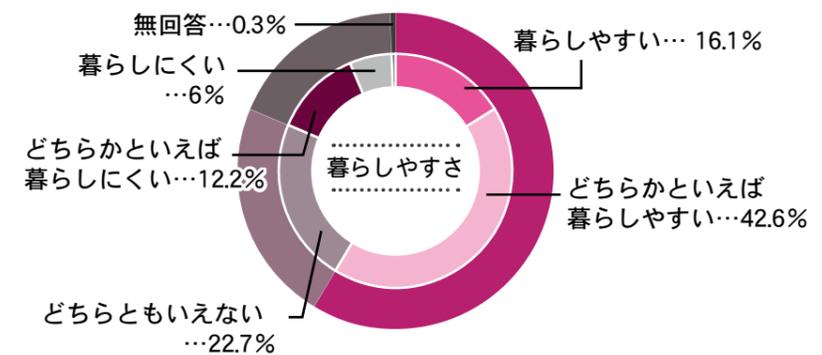
市では、総合計画に掲げる将来「宝の都(くに)・大崎」づくりの実現に向けて、まちづくりを進めています。市民意識調査は、市民の皆さんが市政に対してどのような意見を持っているか、今後の市政運営において何を重要と考えているのかなどを把握し、施策への反映を図る事を目的に実施しています。

今回の意識調査結果から、主だったものを紹介します。詳細は、市ウェブサイト(<http://www.city.osaki.miyagi.jp>)に掲載しています。調査にご協力いただいた市民の皆さん、ありがとうございます。

大崎市の暮らしやすさはごどうですか？

暮らしやすい・どちらかといえば暮らしやすい …58.7%

暮らしにくい・どちらかといえば暮らしにくい …18.2%



▲大崎市の暮らしやすさについての質問では、「どちらかといえば暮らしやすい」と答えた人が42.6%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が22.7%、「暮らしやすい」が16.1%の順となりました。「暮らしやすい」と「どちらかといえば暮らしやすい」をあわせた暮らしやすさを感じている人は、半数を超える結果となっています。